

件名: サンプル 様邸

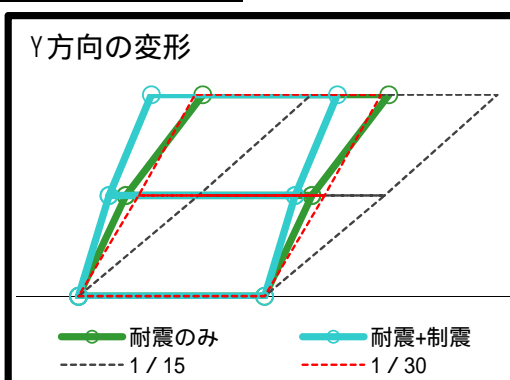
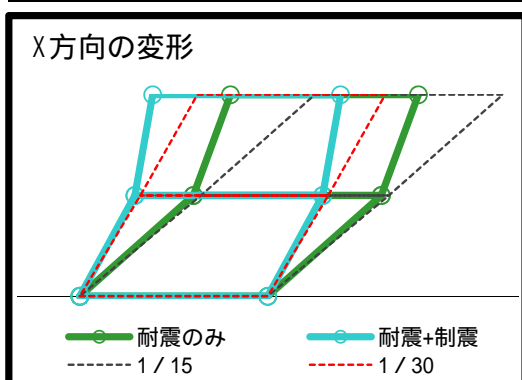
1.解析緒元

建物	建物タイプ		軽い建物	
	床面積 [㎡]	2F	49.68	
		1F	71.42	
	質点重量 [kN]	2F	103.52	
		1F	341.8	
	階高さ [mm]	2F	2730	
1F		2900		
入力地震波			BCJ-L2 (震度6強程度)	

2.ダンパー検討結果

			【X方向】		【Y方向】	
			耐震のみ	耐震+制震	耐震のみ	耐震+制震
TRC-30W 本数	2F	本	0	1	0	1
	1F	本	0	2	0	2
TRC-10S セット数	2F	セット	0.00	0.00	0.00	0.00
	1F	セット	0.00	0.00	0.00	0.00
最大層間 変形角	2F	rad.	1/46.0	1/96	1/22	1/40
	1F	rad.	1/16	1/33	1/38	1/59
	最大値	rad.	1/46	1/96	1/38	1/59
最大層間変位	2F	mm	59	28	124	68
	1F	mm	181	88	76	49
	最大値	mm	181	88	124	68
耐震住宅との比較(2F)		%	-52%		-45%	
耐震住宅との比較(1F)		%	-52%		-36%	

		耐震のみ	耐震+制震	比較
耐震住宅との比較(全体)	mm	181	88	-52%

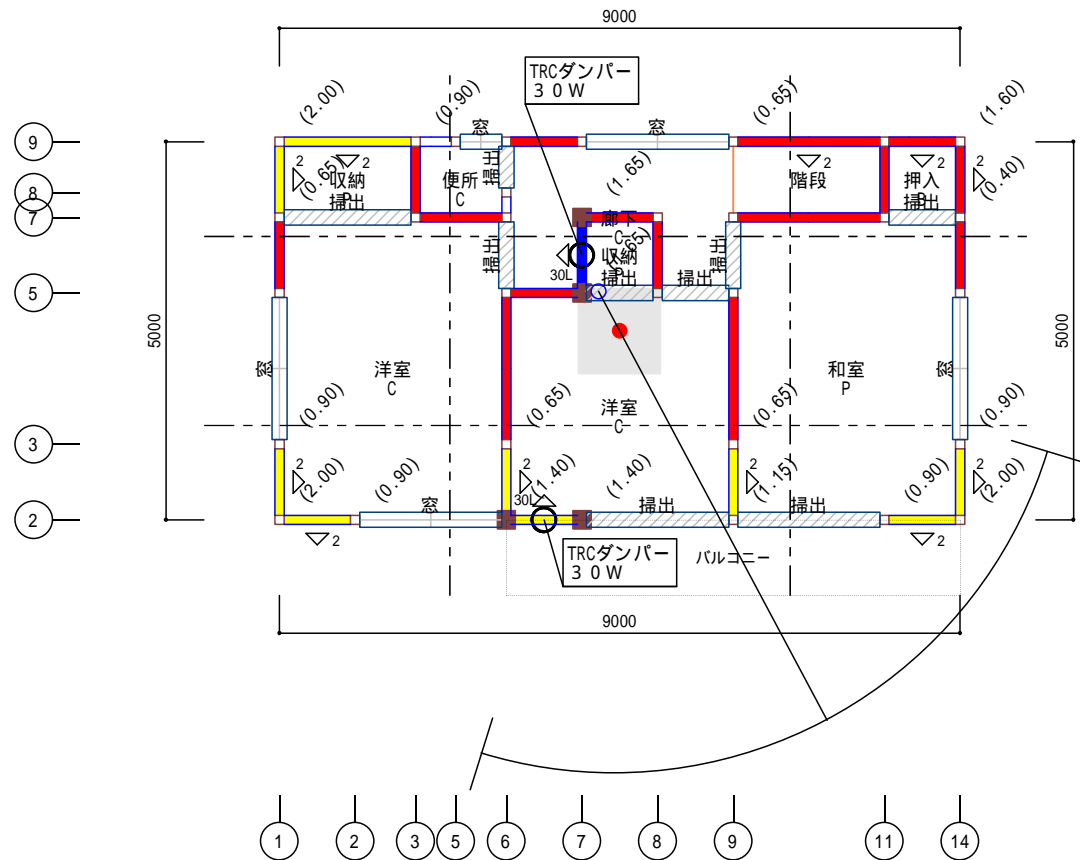


3.ダンパー検討結果

TRC-30W:6本、TRC-10S:0セットを使用。

耐震住宅と比較して、制震住宅は、1階部分でX方向 -52%、Y方向 -36%、
2階部分でX方向 -52%、Y方向 -45%、変位(揺れ)が低減した。
以上

2階平面図



- Y
凡例
- B: 【診断専用】合板(厚3未満) [0kN/m]
 - S: 【診断専用】金属サイディング [0kN/m]
 - C: 石膏ボード張り(厚9以上) [1.1kN/m]
 - P: 【診断専用】合板(厚3以上) [0.9kN/m]
 - 30L: *制震TRC-30W 階高: 2730以下 [3.3kN/m]
 - 2: 【診断専用】筋かい木材45X90以上 釘打ち [2.6kN/m]
- X

壁基準耐力 (kN/m)	色
赤 3.0未満	赤
黄 3.0~5.0未満	黄
青 5.0~7.0未満	青
黒 7.0~	黒

サンプル様邸

診断書作成日時:2014年07月31日10:59 Ver. 1.0.4

物件コード: 1287109 補強案 1 0.96 1.00

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
 本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
 N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

TRC-30A ダンパー目安本数設定

《延床面積とTRCダンパー設置数のイメージ》

延床面積	リフォーム		新築	
	重い屋根	軽い屋根	重い屋根	軽い屋根
ダンパー本数				
～35坪	6	6	4	4
36～40坪	8	6	6	4
41～45坪	8	8	6	6
46～50坪	10	8	8	6
51～55坪	10	8	8	6
56～60坪	10	10	8	8
61～65坪	12	10	8	8
66～70坪	12	10	ご相談ください	
71～75坪	12	12		
76～80坪	14	12		
81～85坪	14	12		
86～90坪	14	14		
91～95坪	16	14		
96～100坪	16	14		